

6

環境教育

第3期プラン 1-(2)-ア

1

「生きる力を育む教育の推進」

「兵庫県環境学習環境教育基本方針」に基づき、自然とのふれあいや身近な生活の中での気付き・発見をきっかけとして、環境に関心をもち理解を深め、自然に対する豊かな感性を養う。また、命あるものとふれあう中での感動を通して命の大切さや命の連鎖を実感させ、自然に対する豊かな感性や命を尊ぶ心を育む。

さらに、科学的な考察を通して、持続可能な環境適合型社会の実現に向けて主体的に行動する力を養う。

令和4年度 重点実践事項

- 地域の産業、自然、人材等をいかした学習素材の積極的な活用
- 環境問題や環境保全等に対する理解の促進

実践目標

1

環境教育を計画的に推進する

① 系統的な指導計画の作成 全

発達段階や地域の自然環境の特色を活用した直接体験となるよう工夫する。また、各教科等の学習内容と関連づけた指導計画となるよう指導内容を見直す。

② 環境問題への関心の高揚 全

幼稚園等における遊びの時間、また、学校における各教科や総合的な学習(探究)の時間等を利用し、水力・火力・原子力・太陽光等のエネルギー資源の特性、廃棄物やリサイクル等の環境の社会的諸問題への関心を高める。

重点! ③ 地域の特性をいかした学習素材の積極的な活用 全



産業、自然等の地域の特性をいかした学習素材や地域人材を積極的に活用するため、大都市から農山村、離島まで、それぞれの地域の環境を保全し、ふるさと意識を醸成する取組を推進する。

実践目標

2

発達段階に応じ、環境を大切に する意欲や態度を育てる

① 指導方法及び指導内容の工夫・改善 全

「幼児期の環境学習・教育実践事例集」や小・中・高等学校用の「環境教育副読本」を活用するなど、問題解決の過程を通して、環境に対する理解を深める指導に取り組む。

② 学習と実践の一体化 小中高特

体験活動を重視し、学習と実践の一体化を図る環境教育を推進する。また、地域で環境問題に取り組む人々に学ぶなど、環境を大切にしたい意欲・態度を育てる。

重点! ③ 実践力の育成 小中高特



環境とそれに関わる社会や文化及び経済に関する科学的理解を深める活動を通して、環境問題や環境保全等に向けた人間の果たす責任と役割を理解させる。また、SDGsの考え方を踏まえ、持続可能な社会の実現をめざして、主体的に行動する力を育成する。

SDGsと環境教育

SDGsとは、世界が団結して取り組む、持続可能でよりよい世界の実現を目指す17の目標のことです。

「Think Globally, Act Locally」(地球規模で考え、足下から行動せよ)の言葉のように、各学校で実践している環境教育とSDGsとの結び付きを児童生徒に気付かせることにより、活動意欲が向上したり、大人になってからも持続可能な社会に関わろうとする態度を養ったりすることが期待できます。



川遊びでの自然体験
(養父市立大屋子子ども園)

関係資料

※関係資料一覧より一部抜粋
※一覧はP67のQRコードから閲覧可

第5次兵庫県環境基本計画

(H30 兵庫県)